

※6月26日に日組織として第1回学校協議会を開催したため、新学校協議会の名称を使用している。

1 日時：平成25年3月26日 (火) 午後3時～午後5時00分

2 場所：大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

(敬称略)

近畿大学 教職教育部 教授	田中 保和
東大阪市立楠根中学校長	槇 光則
平成24年度 同窓清友会副会長	伊藤 恵美子
平成24年度 大阪府立清水谷高等学校PTA 副会長	林 宏匡

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席2名

※記録：首席

4 協議：

① 平成24年度学校教育自己診断 集結果について

- ◆ 「学校では、学習と部活動の両立を大切にする雰囲気がある。」の回答が多いにも関わらず、家庭で毎日予習復習する生徒が少ないう点について
 - ・「毎日」という制限がついていること、塾予備校での学習が含まれない点を考えると実態としては、もう少し学習していることとなる。
 - ・予習の方法が具体的にイメージできず、生徒もいる現状があり、中学校では「家庭学習の手引き」を配付している。清水谷では？
 - 本校では、独自に作成した「高校生活」という冊子を用い、入学時に学習面も指導している。
- ◆ 生徒の 授業が分かりやすい (75.7%) 工夫している先生が多い (61.5%) と教員の授業レベル・進捗適切 (81.0%) 授業の工夫改善に努めている (81.0%) との乖離について
 - ・生徒が分かりやすいと感じるのは、工夫があるからであろう。ただ、工夫が見えていないということではなぬか。生徒に教職員の工夫が見えてくれば良いのだが。
 - ・ICTの活用や、授業公開などで色々な授業形態を知ること、工夫していく雰囲気が出るのではなぬか。
- ◆ 教職員回答で教職員間の信頼関係や職場の人間環境についての肯定的意見が増していることについて
 - ・今年度は授業改善に向けて教職員間で協議を持つ機会が多かった。
 - ・3年前よりも初任者を含め若手教員が増え、色々と意見交換をする機会が多くなっている。

※ その他、主体的な学習、指導などについて協議し、助言を頂きました。

② 平成24年度学校経営計画及び学校評価（案）について

◆ 保護者への授業公開について

- ・特定日時ではなく、一定期間とすることが小中学校では多い。また、休日参観にする場合もある。
- ・教室への入り易さなどを考えると、日を決めての方が行きやすいという保護者の声もある。特に、高校では通学区域が広域になっているので、参観する保護者が孤立してしまうことにもなってしまう。
- ・日程などからは、学期に1回の授業公開は厳しいかも知れない。他の行事を含めて月1回程度は学校を公開とするという考え方もあるかも知れない

◆ 継続相手に関する項目の肯定率について

- ・50%以上というのは、ハードルが高すぎないか。若い教員、部顧問の働きによって、上方をめざすではどうか。

※ その他 オープンスクールの時期回数、スクールカウンセラーの活用などについて、協議され、助言を頂きました。

③ 平成25年度学校経営計画及び自己評価（案）について

- ・次年度、第1回での協議に向け、学校長より趣旨説明が行われた。

④ 保護者からの意見調査の現状報告について

- ・現在のところ協議すべき事項がなかったと、教頭より報告があった。

5 連絡

① 大学合格状況（速報）について

- ・現時点で半明している大学合格状況について報告をした。

② 来年度の日程について

- ・来年度は、学期に1回は開催する方向性の確認をした。
- ・第1回は、平成25年6月12日（水）に開催予定となった。

以上